



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中！ <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平
ホームページには、カラー版の学校便りを掲載しています。 <http://www.mercury.jstar.ne.jp/~yhksho>

「私たちが創る もっとカラフルな学校」が今年度のキャッチフレーズ



令和5年度は、「多様性（ダイバーシティの尊重）」を「カラフル」という合い言葉で表し、学校経営を進めてきました。令和6年度も、昨年度同様、「子ども一人一人の多様性（ダイバーシティ）の尊重」すなわち「カラフル」を合い言葉にしながら、令和5年度を発展させる形で学校経営を進め、「お子さん一人ひとりを大切にす教育」を職員一同で推進していきます。

そのため、令和6年度の目指す学校像を「みんなで創る カラフルな学校」から、

「私たちが創る もっとカラフルな学校」とします。

また、従来行ってきたからという理由で教育活動を行うのではなく、子どもたちにどのような力を付けることができるのかという観点から教育活動を検討していきます。

○「みんな」から、「私たち」へ

お互いを認め合える温かい雰囲気が出てきました。今年度は、カラフルな学校を自分たちが創るという当事者としての意識を大切にします。差別、偏見に対しても勇気をもって立ち向かう一歩踏み込んだ子どもたちの姿を期待したいと思います。

* 私たちには、子ども・保護者・地域・教職員を含んでいます。

○「カラフル」から「もっとカラフル」へ

私たちは、もっとカラフルになれる。お互いをもっと認め合えるという意味を含めています。

始業式で、私は改めて、カラフルとは、「一人ひとりの違いを認め合うこと」、「自分と違う友だちの良さを認めること」、「差別に対して、勇気を出してだめと言うこと」が大切と話しました。そして、私たち339人で居心地の良い学校を作ろうと呼びかけ、昨年と同様に金子みすゞの詩を紹介しました。

■ 「私と小鳥と鈴と」 作：金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。

私がかからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんな唄は知らないよ。



鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

■ 1年生を迎える会 ～1年生をみんなでお祝いしたよ～



6年生と入場



2年生の歓迎ダンス



わかばフレンズ顔合わせ

1年生を迎える会を4月23日（火）に行いました。各学年の子どもたちの1年生に楽しんでもらいたい、1年生の入学をお祝いしたいという気持ちが伝わってくる会となりました。1年生からは、「楽しかった！」との声が上がリ、全校児童の気持ちが伝わりました。

6年生は、朝読書の時間に1年生教室に行き、本の読み聞かせをしたり、朝の支度を手伝ったりしています。下学年と接することで自然と相手を思いやる優しい言葉が出てきます。今年は、「わかばフレンズ（縦割り班）」を中心とした活動を増やし、子どもたちの社会性の育成を図っていきます。

■ 教職員紹介

	学年等	氏名		学年等	氏名
1	校長	木 嶋 達 平	26	高学年専科	竹 之 内 め い
2	教頭	山 口 真 人	27	英語専科	後 藤 美 佳
3	教務主任	森 智 史	28	養護教諭	川 上 和 美 子
4	1年	1組 笹 崎 綾 乃	29	栄養教諭	本 間 史 子
5		2組 八 幡 聡 子	30	事務員	岡 本 久 美 子
6	2年	1組 安 田 一 平	31	講師	宮 本 聡 美 靖
7		2組 河 合 翔 子	32	講師(ICT)	平 澤
8	3年	1組 小 野 塚 貴 紀	33	講師	原 田 典 子
9		2組 西 川 裕 子	34	講師	松 田 光 枝 子
10	4年	1組 菊 池 玲 史	35	講師	堀 範 子
11		2組 岡 村 杏 香	36	図書館司書	宇 治 由 絵 子
12	5年	1組 桑 原 佑 衣	37	管理員	荒 木 美 弥 子
13		2組 水 谷 徹 平	38	管理員	水 澤 敏 明 子
14	6年	1組 大 西 あ ゆ み	39	支援員	丸 山 真 紀 子
15		2組 小 林 泰 仁	40	支援員	藤 原 由 佳 子
16	まなび	1組 日 馬 美 幸	41	支援員	樋 口 孝 子
17		2組 菅 家 加 津 子	42	支援員	石 川 和 子
18		3組 松 木 康 子	43	支援員	本 間 奈 保 子
19		4組 酒 井 大	44	支援員	鈴 木 友 梨 加
20		5組 中 村 由 美 子	45	支援員	宮 路 春 香
21		大 竹 茂 美	46	ALT	高 野 じ ゅ り あ
22	言語通級(ことば)	松 井 富 美 恵	47	SSS	大 山 結 貴 子
23	発達通級(すまいる1)	大 竹 孝 宏	48	施設教育コーディネーター	阿 部 千 恵 子
24	発達通級(すまいる2)	佐 藤 真 衣 香	49	施設教育コーディネーター	鈴 木 圭 子
25	高学年専科	北 川 雄 太	50	担任研修委員(兼務)	大 久 保 和 弘

左記の総勢50名の教職員がワンチームとなり、保護者の皆様からお預かりしている大切なお子さん、一人ひとりに丁寧な支援を行っていきます。

弥彦村のご支援のおかげで、村単独で多くの講師・支援員・図書館司書等を配置していただいております。県内の他市町村に比べても非常に手厚い支援体制が整っており、充実した教育環境が整備されており、ありがたいです。

■ 働き方改革を推進します

子どもたち一人ひとりに丁寧に向き合ったり、楽しい授業作りの準備をしたりするには、多くの時間を要します。勤務時間内に子どもたちにじっくり向き合える時間を生み出すために従来行ってきたことをこれまで以上に見直していきます。4月に家庭学習についてのお便りを出させていただきましたが、今後は宿題の丸付け、一言コメント等は、大変時間をとるため、簡略化します。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

